

子どもショートステイ事業拡充等の考え方について

1 子どもショートステイ事業拡充等の考え方

区は、区内の乳児院及び母子生活支援施設、協力家庭に事業委託を行い、子どもショートステイ事業を展開してきた。子どもショートステイは、育児不安や育児疲れに対する養育支援、保護者の出産や病気、行事等の緊急時の預かりに加え、多様な働き方によるニーズへの対応といった側面を担っている。

現在、区内の事業実施場所においては、実施施設の立地、環境や定員等が限られていることから、必要な時に利用ができないことや利用することへの抵抗感があり利用を躊躇する状況がある。

このようなことから、利便性の良い場所や環境で必要な時に利用できるよう支援策の充実が求められており、以下のとおり環境整備を図っていく。

2 具体的な取組

(1)実施場所の拡充

子どもにとっても楽しく成長できる場所であり、保護者にとっても躊躇なく安心して預けることができる事業実施場所を1か所拡充し、利便性のよい区中央部で事業を実施できる事業者を誘致する。対象児童は2～18歳、定員は4人を予定。

【実施場所案】

施設名	対象児童	定員
聖オディリアホーム乳児院 (上鷲宮5丁目)	0～2歳	1日2人
中野区さつき寮 (中央5丁目)	3～15歳	1日4人
協力家庭 (北部地域に4家庭)	3～18歳	1日1人
新規事業者 (中央部付近)	2～18歳	1日4人

ア 事業者選定方法

企画提案公募型事業者選定により行う。事業者の選定にあたっては、児童及びその家庭の福祉の向上を図り、児童の健やかな成長につながる創意工夫した支援が求められるため、価格のみによる競争入札方式ではなく、事業者からの企画提案を受け、その社会性・信頼性、履行能力及び委託経費見積額を総合的に評価して最適な事業者を選定する。

イ 事業者に対する支援の概要

事業委託にて実施し、併せて国及び東京都の特定財源を活用した補助の仕組みを創設していく。

○開設準備経費補助

- ・ 改修費等
- ・ 礼金及び賃借料(開設前月分)

(2)利用要件の拡充

保護者が短期間の休息により、リフレッシュして子育てすることができ、虐待やネグレクトの未然防止や子育て家族の孤立を予防するため、保護者の育児疲れ解消等の場合に利用できるよう利用要件を拡充する。

(3)利用者負担額の見直し

ひとり親、経済的困窮者等が継続して利用できるよう、現在の利用者負担額を見直し、利用しやすい金額設定とする。なお、利用者負担額の計算方法は、24時間単位であったが、国及び東京都の補助基準の計算方法と整合性を担保するため、日を単位とすることに変更する。

【現在の利用者負担額(24時間ごとに1日分が加算される)】

世帯区分	生活保護世帯	住民税非課税世帯 ひとり親世帯	住民税課税世帯
聖オディリアホーム 乳児院	0円	900円	2,200円
中野区さつき寮	0円	2,500円	5,000円
協力家庭	0円	1,500円	3,000円

【見直し後の利用者負担額(午前0時を超えるごとに1日分が加算される)】

世帯区分	生活保護世帯	住民税非課税世帯 ひとり親世帯	住民税課税世帯
全事業所	0円	500円	1,500円

(4) 利用手続きの簡素化

申請手続きの電子化及び利用毎に実施していた面談を見直すことで、手続きを簡素化し、利用者負担の軽減を図る。

3 今後のスケジュール(予定)

令和7年	4月	既存実施施設の利用要件の拡充及び利用者負担額の変更
	5月以降	子どもショートステイ事業新規事業者の公募
	10月以降	子どもショートステイ事業新規事業所開設・委託開始